

橘 岐阜県仏教会会長 逝去



橘 正信会長を偲ぶ

杉山 令憲

昨年の暮れ、体調がすぐれないとお聞きしておりましたが、家族やご門徒そして我々仏教会関係者の望みも叶わず、さる九月十六日にご逝去されました。誠に痛恨の極みであります。先生が岐阜県仏教会会長に就任されたのは、平成二十二年四月で、この九月までの四期目六年半で在りました。数々の事業の推進にご尽力いただき、その功績は枚挙に足りませんが、追悼を込めて振り返りたいと存じます。

岐阜県精神保健福祉協会の依頼を受けて、年間三万人に上る自死問題について、県下五圏域で「ゲートキーパー・クルー養成講座」を開催し、見守り隊の育成に力を尽くされました。

海外親善法要の旅では、韓国仏教会との交流と韓国花まつりを見学、また終戦七十周年の昨年には、サイパン玉砕七十一回忌・サイパン南溟の平和の鐘安置二十五周年の彼我戦没者法要を厳修、「このころの日推進委員会」では、岐阜県出身三人会特別講演を奈良薬師寺管主の山田法胤師、鎌倉建長寺管長の吉田正道師と「今、問われている心」と題して市民ら千九百人が参加、栄叡大師顕彰法要を毎年開催され、折に触れ仏教の興隆を語っておられた姿が心に残っています。心よりお悔やみを申し上げ追悼の言葉といたします。

合掌



発行 平成 29 年 1 月 1 日
岐阜県仏教会事務局
岐阜市西野町 3 丁目 1 番地
岐阜西別院内 Tel 266 7803
編集 出版委員会
1 部送料共 80 円

機嫌と飲酒

年末年始はお酒を飲む機会が増える時期。普段の束縛から解放されるために、お酒を飲んで機嫌良くなりたいたいもの。でも飲酒は、周りから嫌がられる場合も少なくありません。また交通ルールも厳しくなっています。「酒は飲んでも飲まれるな」。このシーズン、お互いに注意しましょう。

今回は、「機嫌」と「飲酒」の元々の関係を紐といていきます。

「機嫌」という言葉。「ご機嫌いかがですか?」「ご機嫌が斜め」など、善悪の関係がない「気分」「気持ち」「安否」という意味で現在は用いられています。漢字を見ると、細かい仕掛けという意味を含む「機」と、きらうという意味の「嫌」という文字から成り立っていて、単純な「気分」「気持ち」「安否」という意味につながってきません。元々は、譏られ嫌われるという意味の「譏嫌」という仏教用語がルーツ。「譏」が「機」に似ているために「機嫌」と変化し、意味も単純な「気分」「気持ち」「安否」となったようです。

仏教では、在家の者が守るべき五つの戒めがあります。性戒で不殺生・不偷盗・不邪淫・不妄語の四つと、遮戒である不飲酒をあわせた五つです。性戒とは、それ自体が罪なものへの戒めです。殺しも盗みも淫乱も嘘を含めた口悪さも、それ自体が罪。一方、遮戒とはそれ自体が罪なのではなく、他の罪を誘発する罪のこと。お酒を飲むこと自体は誰かに迷惑をかけるわけではないので罪ではありません。お酒を飲んで四つの罪を犯す修行者が出てきたために、不飲酒戒が制定されました。

この遮戒は『大般涅槃經』では「息世譏嫌戒」という別名が与えられています。お坊さんがお酒を飲んで女性にだらしなくなったり、口悪くしている姿を見たら、どう思われますか。思わず、そのお坊さんばかりか、宗派全体を嫌ったり譏りたくありませんか。「息世譏嫌戒」とは、世間から譏られたり嫌われたりすることを息める戒律です。単純にお酒を飲むなどということではなく、お坊さんは世間から譏られ嫌われたりしないように生きねばならないというものです。そうしないと、教団自体の存続に関わってしまいます。みっともない姿を晒し他者に迷惑をかけかねない飲酒を禁じたのはそのためです。

機嫌が良くなるための飲酒が、世間から譏り嫌われる元であることを知って、機嫌を悪くしないでください。あくまでも世間から譏り嫌われることがないということが重要なのです。(北川)



岐阜県仏教会会長 杉山 令憲

就任のあいさつ

このたび、岐阜県仏教会会長に就任いたしました杉山令憲です。もとより浅学非才でございますが、去る十月十四日(金)の理事会におきましてご推薦いただきました。何卒各位のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、県下には二千二百六十余りの寺院があり、大きな責任を感じております。そして仏教会を取り巻く環境は、大きく変化しており県内の寺院が一丸となって心安らぐ社会の実現に向けて取り組んでいくことが大切と考えます。少子高齢化、人口減少によるさまざまな課題を把握し、寺院活動の在り方を模索しつつ岐阜県仏教会の運営に努めてまいりたいと思っております。

合掌

旋風打

▼子供に野菜の匂を聞いても、わからないと答える子が多いと言う。いつでも野菜はスーパーに並んでいるからだろう。▼最近コンビニにおでんや肉まんが店頭に並ぶと、秋を感じ、お年玉のポチ袋が並ぶとお正月間近と感じてしまう。お孫さんのためにお年玉のポチ袋を買っているおじいさんを見かけるとなにかほほえましい感じがする。

▼お年玉は、古くはお歳魂と書き、歳神様が宿った鏡餅を家長から皆に分け与えたことに由来するそう。今のようにお金を贈るようになったのは室町時代からだそうである。

▼また、お年玉を入れる袋が小さくてポチ袋と言われるのは、これっぽっちですみませんと言の意味があるそう。

▼子供の世界もインフレで千円札が一枚のお年玉では、これっぽっちの音が聞こえそうである。

▼この世で本当に価値のあるものはなんだろうか。

▼お釈迦さまは、「必要なものが価値あるものである」とおっしゃっている。山で遭難すれば、お金や宝石などより、おにぎりや水の方が価値がある。けれども人生で遭難のような危機に合うことは少ないと誰でも思っている。だから本当に必要なもの、空気、水、太陽、食べ物、当たり前のものが人生や命にとって価値があるものであることを心の底からわかる人は少ない。

▼それがわからなければ、本当の感謝という心は生まれないうのである。危機に遭っている方のことを思い、一滴の水や食事に手を合わせて頂きたいものである。(大安)

栄叡大師はなぜ唐に渡ったか

(授戒大師の招聘が喫緊の課題であった当時の国情)

五三八年に我が国に伝えられた仏教は、聖徳太子によってにわかには広まり、造寺造仏が盛んになりました。

推古朝(五九一〜六二八年)の終わりごろの統計によると、寺四六ヶ所、僧八一六二人、尼五六九人と日本書紀に記されています。しかしながら僧尼が二三八五人といっても、戒律という基準に照らして彼らが本当に僧尼といえるかといえ、はなはだ怪しかったようです。このような統計調査が行われたきっかけは、一人の僧が斧で祖父を切り殺す事件があったからでした。僧尼は、まず仏教の戒律によって僧団内で裁かれるのが大原則です。しかしながら、戒律に従って営まれる僧尼の世界は当時まだ確立されていませんでした。

七三〇年代に入ると、公地公民の制度が崩れはじめ、重税をのがれ、耕地を捨てて流浪の民となる農民が増えはじめ、その内の相当数は寺院に入って僧尼となり、課税を逃れるという動きが盛んになりました。それを食い止めなければ国家の存亡が危うくなるため、戒律を厳しくすることによって、僧尼の墮落を正す必要が生じました。そして、正式な授戒が行なえる指導者を唐に求めました。

天平五年(七三三年)当時興福寺の学僧であった栄叡大師は、学友僧の普照とともに、授戒大師招聘の使命を受け、戒壇開設の志を抱いて、第九次遣唐使船に乗ったのでした。

後に、栄叡大師は、当時唐で最高の授戒大師であった鑑真和尚を招聘することとなります。(加納)

栄叡大師奉賛会へご加入をお願い致します

栄叡大師が、中国からお里がえりをされ、そのお像が伊深 正眼寺にご安座されて22年を迎えます。爾來、栄叡大師奉賛会では、大師を讃仰しながら楽しい中に心豊かなみのりの集いを行っています。ぜひ、お誘い合わせの上、ご加入をお待ち致しております。

記

仏教会行事への参加

- ① 栄叡大師顕彰法要

6月 於 正眼寺午前10時30分より。
本年は6月17日(土)10時30分から伊深の正眼寺にて法要を予定しています。
法要後は、正眼寺の住職山川宗玄老大師の法話を拝聴し、伝統の名物精進料理を頂きます。
- ② 古寺巡礼の旅へ

お知り合いの皆さんと誘い合っの旅行。唐招提寺、興福寺をはじめ各宗ご本山めぐりもいいですね。そこで一服の茶を喫し、珍しい精進料理に舌鼓を。
- ③ 海外研修親善の旅へ

楽しい海外旅行をとお考えの方。インド、中国、韓国、台湾等の仏蹟巡拝。サイパン、グアム等々。薄れいく戦跡めぐりも入ります。
- ★ 特典
 - 1. 個人会員(年会費1万円)
正眼寺法要又は日帰り参拝旅行のどちらか無料。
 - 2. 法人会員(年会費5万円)
正眼寺法要と日帰り参拝旅行の両方無料。
- ④ 仏教聖典の普及

仏教伝道協会では、世界のホテルに500万部の聖典を寄付しています。私達も世界平和と人々の心の安らぎの為、県民一人一冊普及運動を推進しましょう。

本山めぐり

十月十二日 水曜日、岐阜 県仏教会主催

の本山巡り。今年度は、真言宗の総本山である京都東寺(教王護国寺)と、滋賀県大津の天台宗寺門派本山である三井寺(園城寺)。約八十名参加。東寺は、毎月二十一日の弘法市や、年初の後七日御修法、講堂の立体曼荼羅と、日本一の高さの五重塔が有名である。

講堂の立体曼荼羅は、国宝や重要文化財の仏像を規則的に並べて真理を表した空間。また金堂は国家鎮護(世界平和祈願)の本尊でもある薬師三尊像を祀る。今回は特別の計らいにより五重塔の内部と小止坊にも入らせていただいた。五重塔は、それ自身が真理を表す。内部を拝観できたことは真理の中に誘われ好縁であった。小止坊は、後七日御修法の際にお勅使が入られる建物。一つ一つの微に入り細に入った建物であった。

三井寺は天台座主であり延暦寺第五世でもあった智証大師円珍の系譜を継ぐ者たちが受け継いでいる天台密教寺院。

絶対秘仏弥勒菩薩を祀る国宝の金堂の中でお参り。続いて弁慶が引きずった大梵鐘を拝見し、三井寺の名の元になった閻伽井屋の井戸を覗き見、唐院を外から拝見。唐院は伝法灌頂を行う場所。その奥には国宝黄不動画像と智証大師円珍

像などが祀られ、三井寺では最も大切にされている場所である。そして国宝勸学院客殿の中を拝観した。狩野光信による障壁画が薄暗い部屋を飾り、縁は能舞台にもなっている。最後に指定文化財収蔵庫を拝観した。

国宝の建物に入り、仏像を間近に見ることができ、貴重な経験ができた旅であった。



熊本地震義援金御礼

熊本地震義援金につきまして、皆様より現在までに220万円のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。全日本仏教会を通じて被災地の皆様のお役に立てればとご報告いたします。重ねてご厚意に厚くお礼申し上げます。

寺院名鑑発刊にあたって

寺院名鑑発刊にあたり、多くの皆様にご協力頂きましたこと厚く御礼申し上げます。しかしながら今回、内容に誤りがあり皆様方に誠に迷惑をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げます。

法衣・仏具・稚児貸衣裳

総合アドバイザー

鷺見法衣店

岐阜市光町1丁目(忠節駅北)
TEL・FAX (058) 232-2306

寺院仏具(各種記念品)製作・販売

有限会社 天真堂

中央社寺工藝社

〒451-0031 名古屋市西区城西1丁目10番21号
TEL (052) 532-0607
FAX (052) 532-0608

※軸表装・頂相・天井絵・古軸修理など承ります。

各宗派仏壇仏具・寺物設計製造・仏壇修理洗濯

岐阜東別院南

(有)宮本佛壇店

〒500-8061 岐阜市小熊町2丁目
TEL (058) 263-0773

ごえん塾

十一月五日、岐阜県仏教協会が「ごえん塾」を本願寺派岐阜別院(岐阜市西野町)で開催した。毎月八日を中心とする日と定めて啓発活動を行う「このころの日推進委員会」が共催した。

今回は、ごえん塾を機縁とし、金子みすゞ記念館(山口県長門市)館長 矢崎節夫さんをお招きし、金子みすゞの詩に込められた他者との絆とつながりの大切さについて語った。



講師 矢崎 節夫氏
演題 「みんなちがって、みんないい。」
金子みすゞさんのうたをうたいます。

各地の動き

各務原市仏教会

- 十月二日 各務原市母子父子寡婦福祉会追悼法要 於 各務原市総合福祉会館
- 十月十二日 各務原市遺族会戦没者追悼法要 於 那加福祉センター

郡上市仏教会

- 七月二十八日～八月九日 十三ヶ寺巡り 暁天の集い
- 八月十七日 灯笼流し 於 願蓮寺・吉田川
- 九月九日 物故者追悼法要 於 安養寺

清見町仏教会

- 八月十五日 平和の鐘を鳴らそう 於 全寺院
- 八月二十一日 戦没者追悼法要 於 清見海洋センター

美濃市仏教会

- 八月一日 川端地蔵水難物故者法要 於 港町川端地蔵尊前
- 九月九日 川端地蔵尊供養・講座 於 川端地蔵尊前
- 九月三十日 仏教講座市内托鉢 於 清泰寺市内
- 十月七日 仏教講座二期一会グループ 於 美濃市文化会館

丹生川仏教会

- 毎月施設訪問法話会 於 福祉サービスクラス

可児市仏教会

- 十二月二日 歳末助け合い托鉢 於 可児市内

七宗町仏教会

- 九月十九日 七宗町仏教会記念講演 「認知症はこわくない」 講師 精神科看護士 鈴木宣子氏 於 宝樹寺

多治見市仏教会

- 七月十五日 土岐川精霊送り 於 土岐川
- 十二月十三日 市内歳末托鉢 於 多治見市内

羽島郡仏教会

- 八月十五日 平和の鐘 於 全寺院

瑞浪市仏教会

- 七月～八月 お経を習おう・写経会 於 各寺院
- 九月五日 坐禅と講演会 於 通源寺

九月十八日

- 中国殉難者慰霊供養 於 明世化石公園
- 十月十七日～十八日 団体参拝旅行 於 山陰方面 沢庵寺他
- 十一月 寺院婦人研修旅行

大垣市仏教会

- 七月二十日～ お経を習おう 於 各寺院
- 八月一日～三日 暁天講座 於 大垣別院
- 八月二十二日 物故者追悼法要 於 大垣別院

羽島市仏教会

- 十二月一日 歳末助け合い托鉢 於 竹鼻町

神岡町仏教会

- 十一月九日～十日 奈良研修旅行 於 神岡町市内
- 十二月二日 歳末托鉢

岐阜市仏教会

- 十月十日 黒野校区檀信徒会 於 光順寺
- 九月十八日 戦没者追悼法要 於 上城田寺公民館
- 八月二十二日 厚見校区檀信徒会 於 順勝寺

常盤校区檀信徒会

- 九月十八日 戦没者追悼法要 於 善照寺
- 七月九日 万霊供養塔法要 於 上城田寺公民館

厚見校区檀信徒会

- 八月二十二日 物故者追悼法要 於 順勝寺

長森南校区檀信徒会

- 九月二十九日 戦没者追悼法要 於 浄慶寺

本荘校区檀信徒会

- 七月九日 万霊供養塔法要 於 善照寺
- 十一月六日 物故者法要 於 西福寺

華陽校区檀信徒会

- 七月三十日 物故者追悼法要 於 善照寺
- 九月三日 追悼法要 於 各寺院・上加納

網代校区檀信徒会

- 七月九日 万霊供養塔法要 於 京町公民館
- 十一月十八日 物故者法要 於 岐阜西別院

岩校区檀信徒会

- 十月十六日 戦病没者慰霊祭 於 岩公民館前
- 九月二十四日 老人会追悼法要 於 極楽寺

方巣校区檀信徒会

- 九月二十四日 老人会追悼法要 於 極楽寺

毎月8日は“このころの日” 推進運動にご賛同をお願いします

毎月8日はこのころの日

ハートフルデー 真のこころにめざめよう きよく 正しく 美しく

- 1月8日 敬つれを育てよう
- 2月8日 国を愛する心を育てよう
- 3月8日 父母を大切にすることを育てよう
- 4月8日 生命を大切にすることを育てよう
- 5月8日 家庭を大切にすることを育てよう
- 6月8日 環境を守る心を育てよう
- 7月8日 祖先を敬つやさいし心を育てよう
- 8月8日 平和を願う心を育てよう
- 9月8日 人のために尽くす心を育てよう
- 10月8日 きまりを守る心を育てよう
- 11月8日 文化遺産を大切にすることを育てよう
- 12月8日 人権を大切にすることを育てよう

狸庵法話「フルーツポンチ」 松久宗心

父が他界した後、母は二十五年間一人暮らしをしていました。子供たちにはなるべく迷惑をかけたくないと、いつも気丈に申しておりました。妻に、「私は六十五で自由の身になれたけど、あなたは七十七過ぎてても自由になれないなんて」と言っておりました。

母は逆縁を二度経験しています。次男は六歳の時、医療事故で、三男は四十五歳の時、妻と小学生の子一人を残して白血病で先立ちました。母の悲しみ・苦しみを傍で見ていた長男の私は、母より一日でも長生きすることが、親孝行か、ある日ボランティアの方

と勝手に思っていました。から、三時のおやつに、「フルーツポンチ」をいただきませう。よく冷えていて、母の好きな小豆あんも少し入って、みさえ取ってもらえば、このままの生活を続けたいと、自分の意思を通しました。う」と言っ、少し身を起

虚弱児であった私は、母に苦勞をかけ、どれほど食べさせていたか分からないうちに、私の人生で初めて母に食べていただいた。これもきつと、何も親孝行をしていない私に、母は慈悲心をもって最後に親孝行をさせてくれたものと思います。

「父母恩重經」の中に、「究竟憐愍の恩」が説かれています。「おのれ生きている間は、子の身に代わらんことを思い、おのれ死に去りて後は、子の身を護らんことを願う。」母親とはなんとありがたいことか。

「究竟憐愍の恩」が説かれています。「おのれ生きている間は、子の身に代わらんことを思い、おのれ死に去りて後は、子の身を護らんことを願う。」母親とはなんとありがたいことか。

「究竟憐愍の恩」が説かれています。「おのれ生きている間は、子の身に代わらんことを思い、おのれ死に去りて後は、子の身を護らんことを願う。」母親とはなんとありがたいことか。

